

～大河津分水記念公園～

1. アクセス方法



主なアクセス方法

- ・北陸自動車道「中之島見附IC」から車で約20分
- ・北陸自動車道「燕三条IC」から車で約20分

2. 全体図



3. 施設データ

地方整備局 : 北陸地方整備局
 事務所名 : 信濃川河川事務所
 水系名 : 信濃川水系
 河川名 : 信濃川
 所在地 : 新潟県燕市五千石
 施設管理者 : 国土交通省、燕市
 kp・左右岸 : -10 ~ -15kp右岸
 面積 : 約85,000m²

主な利用

毎年4月に開催される祭りでは、おいらん道中をはじめとする多数のイベントを開催し、観光客で賑わう。平成14年の洗堰の改築に伴い、「信濃川大河津資料館」と一体となり、信濃川と大河津分水を学ぶ“総合学習”の場として、また春には桜、夏には夕涼み、秋は鮭の遡上、冬には白鳥の飛来する光景が見られ、市民の新たな憩いの場となっている。

管理の状況

国土交通省と燕市が管理しており、定期的に清掃している。また、利用者にも、ゴミなどを持ち帰ってもらうよう呼びかけている。

4. 大河津分水記念公園の歴史・利用状況



「横田切れ」の様子

かつて信濃川は度重なる水害によって越後平野に大きな被害を与えてきました。そのため18世紀の初頭より大河津分水建設は請願されていましたが、さまざまな問題や反対運動などでいったん起工された事業は頓挫しました。しかし、1896年7月22日 空前の大水害「横田切れ」と呼ばれる信濃川の破堤（燕市横田）をきっかけに工事が再開されることとなりました。



「おいらん道中」

「絢爛豪華な花絵巻」を一目見ようと、大勢の観桜客でにぎわいます。



「信濃川大河津資料館」

信濃川の歴史や大河津分水に関する資料が展示されており、総合学習の場としても活用できます。



魚を捕まえる



捕まえた魚を観察

川に入って遊べる体験水路には、たくさんの魚がすんでいて、捕まえて観察することができます。